

### 【意見の抜粋】

- 1 合併によるスケールメリットが強調されてきたが、現状、地域間の格差、持続可能性といった問題が表面化(顕在化)している。
- 2 議員を出せない支所地域の住民の声をどれだけ拾えるのか。
- 3 課題と向き合う議会、議会の役割は何かといった場合、それは議決責任であり、それに伴う議員間討議である。これで明確に位置付けられるのではないか。それを論点として進めていければいい。
- 4 地域の自立という部分で、観光一本に依存してきた産業構造という問題や市民所得が向上しない問題などがある。
- 5 合併して15年以上経った現時点、課題が多くなってきていることを実感する。だから今、議会の必要性がこうだと訴えられるような大きな流れを作っていきたいと感じている。
- 6 これまでの議論も含め、合併の問題、地方分権一括法の問題までも加味した上で、今の高山市議会の現実をどう捉えて、今後の方向性を導き出すかというところが、大元の議論になってくる。

これまでの特別委員会では、各視点に基づき意見交換を行いそれらの観点から議員定数はどうあるべきかといった議論を各分科会で行ってきましたが、議員それぞれの考え方は多種多様であり、現時点では議会としての方向性は決まっています。

### これからの特別委員会では

各分科会において議会機能からの視点、議会改革度からの視点、地方分権からの視点の各視点からとらえる議会のあるべき姿の実現に向けた活動等について調査研究を行い、それらの調査から必要な議会活動やそれに伴う議員数を導き出したいと考えています。

#### 高山市議会基本条例で示す議会のあるべき姿

広大な市域におけるまちづくりの責任ある意思決定機関として、市民の負託に応えるべく、議員相互の議論を深めて合意形成を図り、わかりやすく開かれた議会

#### あるべき姿を実現するためのポイント

- 市民の声を市政に反映させるために市民と情報や課題を共有すること
- 行政の政策の決定及び執行について監視し評価すること
- 責任ある決定を行うために合意形成を目指して活発な議員間討議を行うこと
- 市の政策水準の向上を図るために積極的に政策提言を行うこと

また、議会内での議論に加えて市民意見交換会を開催し、市民の皆様が望まれる議会像を想定していただき、そのために議会は何をすべきかとともに考え、議員定数を決定したいと考えています。

これらに対するご意見やご提案をお待ちしています。本号の10ページで紹介のちいきミライ箱や市議会ホームページの問い合わせフォームなどからご意見をお寄せください。

このほかに、本年2月18日に「兵庫県西脇市議会」への行政視察をオンラインにより行いました。

西脇市議会は令和2年1月25日に「議員定数を考えるシンポジウム」を開催しており、シンポジウム開催に至る経緯や、市民参加の手法、市民意見の聴取の方法、当日の実施方法など丁寧に教示いただきました。

この視察で得た情報なども参考に、市民参画の観点から、市民の皆様とともに学ぶ機会としてのシンポジウムの開催を検討しております。なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況等によりですが、年明けの1月から2月にかけて開催したいと考えております。



オンラインによる行政視察の様子

今後、特別委員会の活動を市議会ホームページでご覧いただけるよう議会改革の取組の中でお知らせしていきます。

